

キリスト者の祈り

(マタイ6・5〜8)

一、祈りをめぐって

祈りという行為は不思議です。人間だけが祈るからです。祈りは未開人が行う行為だと、祈りを軽蔑する人もいることでありましょう。ですが祈りは、人が神によって創造された徴の一つであると考えます。と言いますのは、人以外の生きものは祈らないからです。おそらく祈っていないと思います。

古代より、人はだれから教えられることもなく、祈ってまいりました。なぜでしょうか。人間だからです。そういうわけで、特に、教会の皆様に申し上げたいと思います。キリスト者以外の方が祈っている姿を見て、「あれは、偶像崇拜だ」と決めつけないでください。もちろん、明らかに悪霊に取り憑かれて祈る拝み屋のような場合は、主イエスやパウロが行ったように、悪霊の追い出しの祈りが必要となるであります。ですが、普通に手を合わせて祈る人に対して「偶像礼拝だ」と決めつけるのではなく、「この人には宗教心がある」と認めるほうに重きを置いたらよろしいと思います。

二、キリストが教えた祈り

5節をご覧ください。〈また、祈るとき偽善者たちのようであってははいけません。〉とあります。5節からは、祈りについて主イエス・キリストが語られたことが記されています。この、主イエスによる祈りについての教えは13節、ないしは15節まで続いています。

5節の続きを聞いてまいります。〈彼らは人々に見えるように、会堂や大通りの角に立って祈るのが好きだからです。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受けているのです。〉と、おっしゃいました。当時ユダヤ人たちの中に、会堂や大通りの角に立って祈るのが好きな人たちがいたことが分かります。なぜ会堂や大通りの角に立って祈ったのでしょうか。見てもらうためでした。

続いて、6節です。〈あなたが祈るときは、家の奥の自分の部屋に入りなさい。そして戸を閉めて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。〉とあります。イエス時代のユダヤ人にとって、家の奥の自分の部屋とは、何だったのでありましょうか。ある注解書は「物置として使っていた貯蔵室」と解説していました。一方で、新約聖書には「屋上の部屋」ということが出てまいります。タビター——別名で

「ドルカス」——という女の弟子が死んで安置されていた場所が「屋上の部屋」でした。またペテロがヤッファで、シモンという皮なめし職人のところに滞在していたとき、昼の十二時に祈るために屋上に上った場所が「屋上の部屋」であったと思われまします。祈りは人に聞かせるためではなく、父に、すなわち天におられる神に献げるものです。

三つ目の教えは、7節です。〈また、祈るとき、異邦人のように、同じことをただ繰り返してはいけません。彼らは、ことは数が多いことで聞かれると思っているのです。〉と、主は語られました。異教徒たちは、神を「神々」と捉えますから、様々な神々を並べ立てて拜む必要がありました。では、ユダヤ人は、唯一なる神を信じていましたから、ことは数が多くなる祈りから解放されていたのでしょうか。そうはなりません。祈祷文を作りまして、祈祷文が徐々に増えて行きました。続く8節からも聞いてまいります。〈ですから、彼らと同じようにしてはいけません。〉とあります。主イエスは、異教徒と**同じようにしてはいけません**とおっしゃいました。私共にはめるなとはならない」ということです。そのような祈りをしてはなりませんし、する必要ありません。なぜなら、8節の続きです。〈あなたがたの父は、あなた

がたが求める前から、あなたがたに必要なものを知っておられるのです。〉と、主が語られたからです。

今回の範囲はここまでですが、8節で終わってしましますと、シリ切レトンボのようになってしまします。ですが、マタイの福音書は続いています。9節に、〈ですから、あなたがたはこう祈りなさい。〉とあり、教会が「主の祈り」と呼んでいる祈りにつながります。

三、「主の祈り」に思っ

最後に、「主の祈り」について少しだけ触れたいと思います。主イエスは、「あなたがたはこう祈りなさい」とおっしゃいました。そのような視点で、「主の祈り」を見ますと、やや恥ずかしくなるかも知れませんが、私共が祈祷課題を出しますと、「だれだれさんのいやのため」とか、「このようになりませよ」という課題ばかりです。「祈祷課題を挙げてください」と言われたら、それも仕方ないことかも知れませんが、「主の祈り」を見ますとそういうことはありません。「主の祈り」は祈祷文ではなく、私共が祈る際の土台と受け取ったら、よろしいかと思えます。自分の祈り、自分たちの祈り（＝教会の祈り）が、主のみこころに合った祈り、主が喜んで耳を傾けられる祈りであるか否かを判断するために、「主の祈り」で確認するのです。